

楠浦陸上クラブ

発見
地域のお宝

スポーツだけじゃない、
総合人間教育に力を注ぐ、楠浦陸上クラブの活動を監督の大神靖さんに自身に語っていただきました。

地域と育む

平成12年7月に現在の監督である私が楠浦公民館に赴任して来たのを機に、地域より陸上の指導を依頼され、10月にクラブを設立しました。
陸上競技を通して、
「人の話を良く聞ける」
「交通規則を守れる」
「心から挨拶ができる」

また、運動が苦手だった子どもが、マラソン大会で上位入賞、陸上以外の競技でも、バスケットの補欠選手から正選手へ選ばれるなどの成果や、スポーツ以外でも勉強の成績アップなどを果たした子どもも多く、陸上競技を通じて得た「自信」によって、「苦手」としていた事柄にも前向きに挑戦する気持ちの後押しを行う指導が出来てきたと感じています。
走ることは簡単だが、まだ面白みの少ない苦しいスポーツであるように思われますが、これが得意になると周囲の目も変わり、なにより自分自身が何事にも自信を持って臨めるようになってくるのです。だから走ることで、陸上競技を真に輝ける人づくりを行いたいと思っています。
これまでの活動が実り、クラブの人数希望者が増え、一人一人に合った細やかな指導ができていくようになっていますが、この先、出来る限り「走る」に

「食生活の重要性を体験する」等、集団生活体験を通して、子どもたちの健全育成に寄与する事を目的としました。

生涯学習

ゆとり教育(学校週二日制)の始まりにより、子供たちを土曜日は地域で育てなければならなくなった時に、その核となる陸上だけでなく道路沿線の花壇の手入れや自治公民館の清掃、登山、キャンプ、英会話教室などを交えて指導し、子供たちの成長の手助けを行い、地域の生涯学習に大きく貢献してきました。

「自信」を持つこと

スポーツ指導員の資格を取得してから、県大会への参加も積極的にいき、上位入賞も数多くありました。

とか「苦手」な子どもたちには、多くの「手をかり」て「楽しさ」を教え、「得意な」子どもたちには全国高校総体や箱根駅伝等の「夢」を持たせ、今その限られた瞬間をのびのびと生きるこの手助けを行っていきたいと思います。

(文 監督 大神 靖)

監督：大神 靖 コーチ：山下 将近・濱 いち子・山田 裕己
会員数：小学生50名中学生8名
主な活動内容

- ① 子供たちの健全育成の支援(ホウリョウ活動等)
- ② 子供たちの研修(キャンプ・料理講習)
- ③ 各種スポーツ行事への参加

〇練習場所

楠浦小学校グラウンド

〇練習時間

毎週水曜日 午後6時から(12月から3月までは休止)
毎週土曜日 午後4時から(暑さ対策のため夏休みは5時から)

〇年会費

5,000円(保険料800円含む)

※今年度の募集は締め切りましたので、今後の入部は次年度までお待ちいただきます。